

施策名 (小項目)	文化芸術の振興	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		03-03-01	氏名	谷口富祥	
			電話	64-1841	

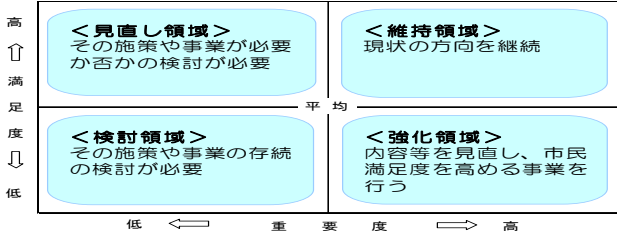
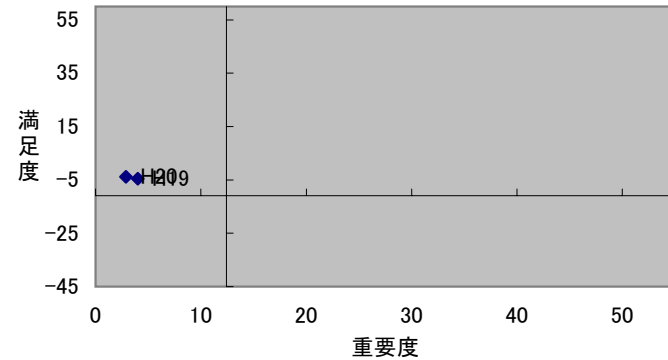
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	地域文化とひとが輝くまちづくり
	中項目(基本施策)	歴史と文化の輝くまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	歴史・文化に興味のある人、関心のある人のために、企画展や講座などを開催し、地域の歴史や文化に親しむ機会を提供する。それにより歴史や文化への認識が高まり、心豊かな人間性を育むことができる。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	コストの削減等に伴い、職員が配置されていない館があるなど、来館者にとって満足のいく企画展や講座が難しくなっている。常設展示等の見直しや魅力ある企画展のため、より一層の創意工夫が求められている。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術活動の推進 文化施設の適正な管理運営

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	4.0	2.9	
満足度(%)	-4.6	-3.9	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	「備前市自体としては誇れる文化があり自然環境にも恵まれた風土があるので、サービスが充実した市であってほしい(市民アンケートNo.37)」という市政に対する意見がある一方、全体的には重要度は低く、満足度もあまり高くない。
---------------------	---

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28				
1 歴史民俗資料館	目標	人	2,000	2,000	2,000	2,500	2,500	2,500		成果をあらわすもっとも直接的な数値は入館者数であるから。	
	実績	人	1,853	2,217	2,561						
	達成率	%	92.7	110.9	128.1						
2 加子浦歴史文化館	目標	人	3,000	3,000	3,000	3,400	3,400	3,400		成果をあらわすもっとも直接的な数値は入館者数であるから。	
	実績	人	2,756	3,438	3,509						
	達成率	%	91.9	114.6	117.0						
3 吉永美術館	目標	人	1,000	1,000	1,000	1,100	1,100	1,100		成果をあらわすもっとも直接的な数値は入館者数であるから。	
	実績	人	800	800	1,276						
	達成率	%	80.0	80.0	127.6						
4 吹奏楽フェスティバル参加団体数	目標	団	9	9	9	9	9	9		成果をあらわすもっとも直接的な数値は参加団体数であるから。	
	実績	団	8	9	9						
	達成率	%	88.9	100.0	100.0						

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算 直接事業費			
				H17			H18			H19						
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数				
1	文化活動推進事業	B	備前吹奏楽フェスティバル事業	その他単市	135	2,738	0.32	123	1,300	0.15	136	850	0.12	☆☆	\$\$	325
2	歴史民俗資料館管理運営事業	B	歴史民俗資料館管理運営事業	施設維持管理	4,106	12,680	3.15	5,041	4,340	1.10	8,982	770	0.11	☆☆☆	\$\$\$	9,187
3	加子浦歴史文化館管理運営事業	B	加子浦歴史文化館管理運営事業	施設維持管理	5,940	10,150	2.15	5,776	4,560	0.75	4,906	5,277	0.91	☆☆☆	\$\$\$	4,566
4	吉永美術館管理運営事業	D	吉永美術館管理運営事業	施設維持管理	1,327	1,085	0.10	1,095	665	0.10	1,046	526	0.09	☆	\$\$\$	818
					2の歴史民俗資料館管理運営事業費の大幅増は臨時職員の賃金を含む。											
この施策に費やした資源(単位:千円,人)					H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
					11,508	26,653	5.720	12,035	10,865	2.100	15,070	7,423	1.23	14,896		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
商工観光課 学校	文化基盤の整備と受入態勢の充実 学校との連携を強める	文化施設は観光施設でもあるため 郷土の歴史について学習する場を提供していくことが必要

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い					
	一次評価		二次評価			
評価	判断理由		評価	判断理由		
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	4	文化施設では様々な工夫を凝らし、企画展を開催。		4	各館の入場者数が全て上昇しており、中長期目標を上方修正している。	
2 事業構成の適当性	2	吉永美術館については、専任職員がいないことから企画展以外は閉館となっている。企画展以外の美術館のあり方について要検討。		2	文化活動推進事業は、公民館と連携した事業展開を検討する必要がある。吉永美術館のあり方については、左記のとおり今後検討する必要がある。	
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	3	目的達成のための基本的な施策は実施している。ほぼ目標どおりに達成している。		4	地域の歴史や文化に親しむ機会を提供する施設として有効な施策である。成果指標も全て目標を達成している	
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	常設展示の見直しや魅力ある企画展を開催するよう努める。併せて、施設の管理運営方法など、集中改革プランに沿った課題を検討する。吹奏楽フェスティバルについては、参加団体が自主的に取り組んでいるが、より一層充実した内容になるよう指導助言を行う。				平成20年度に歴史民俗資料館、加子浦歴史文化館の休館日を1日増やしている。その影響と効果を検証し、今後の各館のあり方について再度検討する必要がある。文化活動推進事業の推進については、受益者負担を勘案しながら、市民により身近で親しめる事業展開を推進する必要がある。	
二次評価者コメント 役職 教育次長 氏名 山本 健次	施策指標の成果は高いが、文化芸術の振興に対する市民の重要度は低く、満足度も高いとはいえない。また、平成22年度に国民文化祭の開催が予定されている。県の動向を踏まえた対応が必要。				基本施策への貢献度 3中立	